

●道が実施する開発公共事業等に関する説明

整理番号	2	事業名	特定漁港漁場整備事業 (猿払地区)	実施箇所	猿払村
全体事業概要	知来別漁港				
	外防波堤		L=110.0m		
	北防波堤		L=46.0m		
	防砂堤		L=155.0m		
	護岸（補修）		L=15.2m		
	西護岸		L=302.2m		
	北護岸		L=27.0m		
	突堤（改良）		L=17.0m		
	-4.0m 泊地		A=12,000m ²		
	-4.0m 泊地（補修）		A=16,000m ²		
	-3.5m 泊地		A=5,200m ²		
	-3.5m 泊地（補修）		A=17,600m ²		
	-3.0m 泊地		A=850m ²		
	-2.5m 泊地		A=600m ²		
	-2.5m 泊地（補修）		A=2,100m ²		
	-2.0m 泊地		A=5,000m ²		
	-2.0m 泊地（補修）		A=2,300m ²		
	-3.5m 岸壁		L=101.0m		
	-2.5m 物揚場（改良）		L=12.7m		
	-2.0m 物揚場		L=153.3m		
	船揚場（改良）		L=50.7m		
	道路		L=438.8m		
	道路護岸		L=158.7m		
知来別漁場					
着定基質（囲い礁）		A=0.42ha			
事業予定期間	平成 14～28 年	全体事業費（百万円）	3,720		
事業の趣旨 (背景・必要性・効果等)	<p>当地区にある知来別漁港では、波浪による航路静穏の悪化や漂砂による港口・泊地の埋塞を軽減させる必要があることから、外防波堤・防砂堤の整備と航路・泊地の浚渫を実施する。</p> <p>給油施設の周辺では岸壁と突堤の法線がずれており利用に支障が生じているため、既設突堤を拡幅しこれを解消する。</p> <p>現在知来別漁港に流入している知来別川上流部には漁船が係留してお</p>				

	<p>り、治水対策上好ましくないことから、漁港を拡張し係船岸を整備することにより河川に係留している漁船を漁港内に収容する。</p> <p>また、知来別漁港は、知来別川により分断されているが、河口を切り替え道路護岸及び道路を整備することにより漁港内での移動を容易にする。</p> <p>さらに当地区の漁業経営は、ホタテガイの水揚げに大きく依存しているが、その単価が下落傾向にあることから、単価が比較的高位安定しているリシリコンブを対象とする増殖場を知来別地先に造成し、水産物安定供給を図る。</p> <p>これらを実施することにより安全で快適な漁業地域の形成を図る。</p>
事業採択基準	<p>次のいずれにも該当すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 計画事業費が一事業につき二十億円を超えるものであること。 二 漁港の整備を含む事業にあつては、当該漁港を利用する漁船の隻数等が相当程度見込まれるものであること。